

国保財政が非常事態です

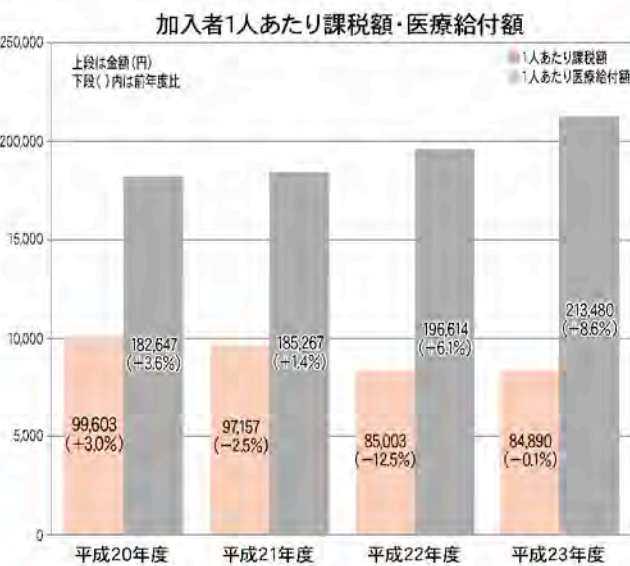
山武市の国保はいま大変厳しい財政状況におかれています

市の国保は、合併時に2億6千万円あまりの財政調整基金をもって充足し、平成21年度末までにその残高は、10億5千万円となりました。

しかしながら、平成22年度以降、急速な高齢化の進行や医療の高度化による予想を超える医療費の増加と、保険税収入の減少によって財政状況が急激に悪化しています。

平成22年度、23年度は基金の取り崩しにより保険税率の引き上げを抑えてきましたが、10億円あまりあった基金も底を突き、来年度は税率を引き上げざるを得ない状況です。

被保険年齢階層別割合(全体を100とした場合の割合)



国民健康保険はこんな制度です

『国民皆保険制度』の最後の砦として、社会保険等に加入している方を除くすべての国民が加入するものです。

民間の保険と異なり、加入は強制ですが、反対に市も加入を拒むことはできません。また、万が一高額な医療費が発生しても、療養日数の制限なく、皆さんの負担は、年齢ごとに決まった割合(1~3割)と、所得に応じた一定額で済むこととなっています。

保険証は割引券ではありません。医療費のうち皆さんが負担した金額以外は国保で負担しています。この財源(国民健康保険特別会計)は市の一般会計から独立していて、皆さんが納める保険税と、国県からの補助金でそれぞれ概ね半分ずつまかなうこととなっています。

加入者の皆様にお願ひすること

- 保険税の期限内納付にご協力ください
- 上手な受診を心がけましょう
 - ・同じ病気でお医者さんをあちこち変えず、かかりつけ医を持ちましょう。
 - ・時間外、休日の受診はなるべく控えましょう。
 - ・ジェネリック医薬品の利用を考えてみましょう。
- 予防、早期発見、早期治療に心がけましょう
 - ・歯磨きなどにより、歯を大切にしましょう。
 - ・喫煙、飲酒等、日頃の習慣を見直しましょう。
 - ・特定健診や人間ドックを積極的に受け、結果を生かしましょう。
- *健診結果について不安がある場合は、お医者さんに相談しましょう。また、市の保健師、市内の調剤薬局(薬剤師)でも相談ができます。

市で取り組むこと

- 市民の皆さんの健康づくりを支援します
 - ・人間ドックの助成を行います。
 - ・特定健診を受けやすくする工夫をしています。
 - ・『ジェネリック医薬品お願ひカード』をお配りしています。
 - ・医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による健康相談を行っています。
 - ・保健師・栄養士・健康運動指導士による健康教育を行っています。
 - ・保健師・栄養士・理学療法士による訪問相談を行っています。
 - ・各種健(検)診を行っています。結果のご相談も受けています。
- 財政状況の改善に取り組みます
 - ・加入者の皆さんに現状をわかりやすくお伝えします。
 - ・国や県からの公費の確保と、一般会計からの繰入など財源拡大を検討します。

☎ 国保に関すること 市民課国民健康保険係 ☎(80)1143
健康相談などに関すること 健康支援課成人保健係 ☎0479(80)8338